

「シンプルに伝えるリスク」：リスクコミュニケーションを科学する

2018年8月3日(金) 13時30分～17時(受付 13時25分より)

場所：航空会館 205会議室(2階) 最寄り駅：JR・地下鉄「新橋」駅、都営線「内幸町」駅

講師：山本 美智子 氏 (熊本大学薬学部/東京理科大学薬学部客員教授)

西澤 真理子 (リテラジャパン代表 インペリアルカレッジ・ロンドンPhD)

受講料：26,000円(テキスト代込、税別)

定員：20名(最少開催人員5名)

開催趣旨

リスクマネジメントではコミュニケーション対策が鍵になります。情報の伝え方によっては誤解され、人命や組織の危機につながることもあるからです。リスクを相手に伝わるように伝えることは安全対策でもあります。

本セミナーでは、平時と危機時に安全情報をどうシンプルかつ分かりやすく相手に伝わるように伝えるかを、過去の事故や海外の事例から体系的に学びます。少数人数での対話を通し、より現場に反映できるコツをお伝えしていきます。

タイムテーブル

13:30	はじめに	西澤
13:40	リスク伝達： 平時と緊急時のコミュニケーション	西澤
14:10	安全情報を伝える際の間違いとポイント	西澤
14:35	休憩	
14:50	リスクコミュニケーションを科学的に検証する	山本
15:10	一般向け読みやすさの指標/ 薬とクライシスコミュニケーション	山本
15:40	表示改善ワークショップ	山本・西澤
16:40	参加者からひと言・閉会	

講師紹介

山本 美智子 (やまもと・みちこ)

熊本大学薬学部/東京理科大学薬学部客員教授

元昭和薬科大学臨床薬学教育研究センター長・医薬品情報部門教授。熊本大学薬学部卒業後、ドイツフライブルグ大学言語学部留学。東京医科歯科大学大学院(Ph.D取得)。国立医薬品食品衛生研究所、(独)医薬品医療機器総合機構を経て、医薬品の安全性評価、リスクコミュニケーションの教育・研究に取り組む。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究班代表者。主な著書に、「薬害・副作用学」、「FDAリスク&ベネフィットコミュニケーション」、「最悪に備えよ(WHO Expecting the Worst)」がある。

西澤 真理子 (にしざわ・まりこ)

リテラジャパン代表 インペリアルカレッジ・ロンドンPhD

専門：リスク対策、リスクコミュニケーション

筑波大学工学部非常勤講師。日本学術会議 連携委員。

厚生労働省 薬事・食品衛生審議会委員、総務省 生体電磁環境に関する検討会委員、他。福島原発事故時には、福島県飯館村でコミュニケーションアドバイザーを務める。

国連 国際原子力機関(IAEA)パブリックコミュニケーション コンサルタント。

参加特典(参加者全員に差し上げます)

西澤真理子著

『リスクコミュニケーション』
(定価 900円 エネルギーフォーラム新書)『やばいことを伝える技術』
(定価 1,000円 毎日新聞出版社)『リスクコミュニケーションハンドブック』
(リテラジャパン発行)